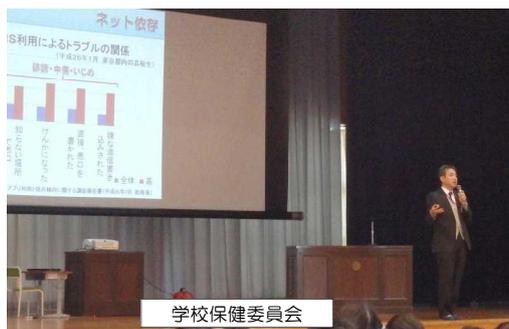




メディアとの上手な付き合い方とは？



学校保健委員会

11月29日(金)、本校の3年生から6年生並びに保護者の皆様を対象に「メディアの使い方を考えよう」というテーマで富山県総合教育センターより研究主事 亀島 正吉先生を講師としてお招きし、学校保健委員会を開催しました。

児童保健委員会の皆さんによるメディアに関するアンケートの結果発表の後、亀島先生からは「メディアとの上手な付き合い方」という演題で、メディアを活用することの利点とネットトラブルやゲーム依存症等、脳へ与えるダメージなどの問題点について分かりやすくお話していただきました。

メディアと正しく付き合うためには、やはり使う上でのルールやマナーを知ることが大切であるということ、そして、そのルールやマナーをきちんと守りながら、目的をもって正しく使うことが、生活をコントロールする力を育成し、子供たちの心と体の健全な成長につながるということを教えていただきました。子供たちにとって今後の実践に少しでもつながる貴重なお話であったと思います。

みんなが幸せに暮らすにはどうしたらよいかを考えました



人権擁護委員の方のお話

12月5日(木)に5年生を対象に「人権教室」を開催しました。はじめに入善町の人権擁護委員の方々から「男女の人権尊重」「高齢者の人権」「障害者の人権」「個性の尊重」について具体的な例を挙げながら、分かりやすく子供たちにお話していただきました。授業後半のグループ活動では、人権擁護委員の方にお話いただいたことを基に、みんなが幸せに暮らすにはどうしたらよいか、互いに意見を出し合って標語づくりに取り組みました。

出来上がった標語を見ると、どれも周りの人のことを考え、大切に関わっていかうとする思いやりの感じられる作品ばかりで、子供たちの人権に対する意識の高まりが見られました。



グループごとに標語づくり

校区のボランティアの皆様を特別講師としてお招きし、手芸クラブを実施



講師の方のアドバイス

11月20日(水)、手芸クラブに校区のボランティア5名の皆様を特別講師としてお招きし、花器作りの指導をしていただきました。手芸クラブの子供たちは、講師の方々にアドバイスをもらいながら、雪だるまをデザインを中心とした、これから迎える冬の時期にふさわしい花器にしようとして一生懸命、作品作りに取り組んでいました。花器が仕上がるとあらかじめ準備していただいたツバキなどの植物を実際に挿してみても出来栄を確かめ、満足そうにしていました。お世話くださったボランティアの皆様には、子供たちにたくさんのアドバイスをいただき、感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。



ツバキを挿した花器